

こもれび

2020年10・11月号 NO.156

編集・発行 ☆ 越谷市立図書館
〒343-0023 越谷市東越谷4-9-1
TEL 048-965-2655
<http://lib.city.koshigaya.saitama.jp/>



越谷ゆかりの作家 野口富士男

市立図書館の2階には、野口富士男文庫コーナーがあり、越谷にゆかりのある作家、野口富士男氏から寄贈された資料の展示を行っています。



野口富士男文庫コーナー（常設展の様子）

野口 富士男（のぐち ふじお）

明治44年(1911)ー平成5年(1993)
東京生まれ。慶應義塾大学中退、文化学院卒。日本藝術院会員。昭和41年(1966)『徳田秋聲伝』で毎日芸術賞、昭和51年(1976)『わが荷風』で読売文学賞(随筆紀行部門)、昭和54年(1979)『かくてありけり』で読売文学賞(小説部門)、昭和55年(1980)『なぎの葉考』で川端康成文学賞、昭和57年(1982)「作家としての業績に対して」日本藝術院賞、昭和61年(1986)『感觸的昭和文壇史』で菊池寛賞を受賞。

野口富士男文庫とは

野口の妻、直(なお)が越ヶ谷町(現在の越谷市)出身で、自身も終戦直後の一時期越ヶ谷町に住み、海軍応召時の栄養失調症を癒しました。この縁により、生前から取り決めを交わし、平成6年(1994)、大量の資料が越谷市立図書館へ寄贈されました。同年10月26日、越谷市立図書館内に野口富士男文庫が開設され、以降、毎年秋に講演会と特別展を開催しています。



昨年の特別展

「野口富士男と四つの東京ー『風の系譜』『女性翺翹』『池ノ端七軒町』『夜の烏』を切り口にー」

常設展では、昭和10年代に野口が関わった数々の雑誌を見ることができるほか、海軍応召時につけていた小さな日記をもとに刊行された『海軍日記』や、越ヶ谷町に戦後疎開していた頃の日記をまとめた『越ヶ谷日記』、越谷を舞台に描いた短篇小説7作品を収録した『越谷小説集』と、それらに関連する資料などが展示されています。

また昨年の特別展では、野口富士男文庫の運営委員である、文教大学の鈴木健司先生監修、文教大学大学院の学生の協力のもと、「風の系譜」「女性翺翹」「池ノ端七軒町」「夜の烏」の4つの作品を取り上げ、作品が掲載された雑誌や原稿、本だけでなく、作品に取り上げられた場所、時代の写真パネルを展示しました。

◆休館(室)のお知らせ◆



市立図書館・移動図書館 10/14(水)～10/20(火)
 北部図書室 10/15(木)～10/16(金)
 南部図書室 10/21(水)～10/23(金)
 中央図書室 10/20(火)～10/21(水)

越谷市内にある約66万冊の蔵書の点検・整理等のため、上記の期間は休館(室)いたします。

休館(室)中の本の返却は、ブックポストへお願いします。

※10/14(水)～10/23(金)は、インターネット予約、図書室内検索端末(OPAC)予約も停止いたします。

ご不便をおかけしますが、ご理解とご協力をお願いします。



おしえて!みんなの大好きな本

みなさまから、おすすめしたい絵本や本(児童書)の情報を募集します。教えていただいた情報は、市立図書館内に展示いたします。市立図書館にある用紙に記入の上、設置ポストに入れてください。

- 用紙配付期間：10月1日(木)～11月20日(金)
- 展示期間：10月21日(水)～11月26日(木)



配本図書を利用してみませんか?

市内にある地区センター・公民館や交流館、老人福祉センター等の書架に、貸し出しのできる図書館の本があるのをご存知ですか。

年に1回、図書館で予約多数の人気本や新刊本を配本して、各地域の読書活動の推進に努めています。

～利用時の注意点～

- 貸出期間や貸出冊数は、各施設により違いがあります。
- 各図書館(室)へ返却はできません。必ず借りた施設へ返却をお願いします。



10月のカレンダー

日	月	火	水	木	金	土
				1	2	3
4	5	6	7	8	9	10
11	12	13	14	15	16	17
18	19	20	21	22	23	24
25	26	27	28	29	30	31

11月のカレンダー

日	月	火	水	木	金	土
1	2	3	4	5	6	7
8	9	10	11	12	13	14
15	16	17	18	19	20	21
22	23	24	25	26	27	28
29	30					

■ は市立図書館の休館日です